

○我が町“坂本”をよりよくするための提言！ 3年 | 組【 】

●地域ボランティア活動をおこなって学んだこと。考えること。

私は地域ボランティアをやってとても気持ちよく、またボランティア
アをしたいと思いました。私は、地域のために一生けんめい
ボランティアをすれば“だれでも私のような気持ちになれると思
うので、たくさんの人に地域ボランティアをしてほしい”と思います。今
社会は、財政難で大変だけれど、ボランティアを多くして、良い
町づくりをしてほしいです。町の色々なところでボランティ
アをして、色々な人と気軽に話したりあそびができるあたなが
い町になるといいと思うし、私はそんな町で暮らしたいです。
私は行政にはばかり頼りすぎずに、どんなことでも
少しでも、1人1人がボランティアを意識して、大切だと思う
ことで、良い町づくり、良い人間関係づくりができてい
くと思うので、1人1人のボランティア意識を大切にしてい
てほしいと思いました。これからの社会は、行政に
頼りすぎない、ボランティアなど“各行い、自分たちで”
町づくりをする社会になってほしいです。

○我が町“坂本”をよりよくするための提言！ 3年 | 組【

】

●地域ボランティア活動をおこなって学んだこと。考えること。

地域の方に感謝の気持ちを伝えるためにボランティア活動をおこなっていました。活動を通して感じたことは、このまちには、まちをよりよくするために“できること、やるべきこと”がたくさんあることです。

私たちがボランティア活動をおこなっているときに優しく声をかけてくれる方はいたと、“無関心”というような感じが横を歩いていてしまう人もいました。ゴミもたくさん捨ててありました。

今、“地方の財政は苦しい”です。もしいろいろな人に「まちをどのようにしてほしいですか？」と質問したら、大半の人はお金がかかる、“公共施設を増やしてほしい”、“道路を広くしてほしい”などと答えると思います。それは財政が苦しいと知らないからだと思…まあ（私も言っていました…）。だから私は建物を増やすなどのすぐ見て分かることよりも、“地域行事などを通して地域の方同士が交流をもつこと”のほうが大切だと思っています。そして、一人ひとりが自分自身でいるまちに関心を持ち、積極的にボランティア活動に参加し、お互いに助け合う“共生社会”を目指すべきだと思います。

お金をかけなくても人に喜んでもらえることが絶対にあります。例えば、アルミ缶集め、ゴミ拾い、植物を植えるなど。

このように小さなことがもしもなっていくと、これ小さなことでもたくさん集まれば、きっと、“誰もが納得する「まちづくり」の第一歩”になっていくのではないのでしょうか。

全校でボランティア活動をおこなって、達成感や満足感を感じた人やボランティアの大変さや大切さを学んだ人はたくさんいると思います。その気持ちを大切にし、これからの活動にいかしていかるといいと思います。